

平成 23 年度

# 学校 教育 計画



大阪府立今宮高等学校

〔全日制の課程〕

## 目次

第1 学校教育活動の方針	1
(1) 学習指導の方針	
(2) 特別活動の方針	
(3) 道徳教育及び生徒指導の方針	
(4) 進路指導の方針	
(5) 人権尊重の教育の方針	
(6) 健康管理と指導の方針	
(7) 学校組織の運営方針	
(8) 教員の研修方針・研修計画	
第2 校務分掌	4
(1) 校務分掌表 各種委員会	
(2) 学年主任、ホームルーム担任一覧表	
(3) 部活動一覧表	

## 第1 学校教育活動の方針

### (1) 学習指導の方針

学習指導にあたっては、生徒が自ら進んで学習することによって、創造する喜びを体得しつつ、生涯にわたって主体的に生きていく自己を実現するための基礎学力を身につけさせることとともに、進路実現のための学力保障に重点を置く。そして生徒一人ひとりの個性・感性を伸長するよう指導に工夫を凝らす。そこで全ての科目において、生徒の興味・関心に基づく主体的な学習を促し、生徒が自ら考え、創造し、プレゼンテーションできるよう学習指導の充実を図っていく。総合学科では多くの自由選択科目から五つの系列(文化・社会、国際理解、芸術・体育、生命科学、理数)に沿いながら科目選択をさせる。ここでは各教科において特色ある選択科目を設定することになり、より柔軟な教科編成とするため、従来の学年や教科の枠を越えた形の科目を設け、また、大学や医療現場などから社会人を講師として招請し、学問の最先端に触れさせることで、生徒の知的な興味や関心を振起・伸張させる取組も行っている。

### (2) 特別活動の方針

特別活動を通じて、友情や連帯性を深め、本校生徒として、ふさわしい態度や行動を身につけさせる。ホーム・ルーム活動・学校行事等には自発的に参加するよう指導し、集団生活における自主的・自律的態度を養う。

部活動等にも積極的に参加するよう指導するとともに、これらの活動を通して、お互いの触れ合いを深めながら、人間関係形成能力を培い、個性と人間性を高めていくよう指導する。各教科、科目との関連を図りながら、全体としての調和のとれた指導計画を作成する。

### (3) 道徳教育及び生徒指導の方針

#### ・道徳教育の方針

基本的な生活習慣や規範意識を身につけさせる指導を全職員をあげておこないながら、指導の意義と目的を丁寧に教え理解させる。人の心を推し量り、その思いを大切にするとともに、体験的学習を通じて学ばせ、人と接するときの態度や言葉遣いが自然に留意できるような人物を育成する。

#### ・生徒指導の方針

校内での学習活動やさまざまな教科外活動を通して、生徒自らが主体的に取り組むことの大切さを理解させ、実践する力を養いながら、生徒が夢・希望・目標そして自律心を持てるような指導を目指す。重点項目として具体的に下に記す。

- (1) 対処的指導から予防の指導へ
- (2) 生徒の規範意識の高揚と自己管理の徹底(朝のSHRを実施)
- (3) 挨拶の励行と集団生活におけるマナーの周知徹底
- (4) 基本的な生活習慣の確立が困難な生徒に対する細やかな指導
- (5) 自治意識の高揚と生徒自治会組織の活性化
- (6) 豊かな情操教育の推進

### (4) 進路指導の方針

・進路指導が広範な教育活動の一環として、その運営にあたる場合、全職員が進路指導について積極的に参加するよう配慮することが肝要である。職員間相互の緊密な連携のもとに、能率的かつ効果的な指導体制の確立を図り、より高い指導の効果が挙がるよう努める。

・本校の実態に即して、生徒とのより深い交流を通じて、進路指導の質的向上を図るとともに、各種の資料を十分に活用し、新鮮な弾力性のある指導を実施する。

・学年別年間指導については進路学習関係行事計画に位置づけているが、以下のことに留意している。

1年次：職業適性検査を実施して、生徒の自己理解に努める。なお、ホームルーム担任等と協力し、学年集会・「今宮志学(産業社会と人間)」やオープンHR・進路ガイダンスなどを通じて進路選択をする力の形成を図り、その上で各自が主体的に進路決定をするよう指導する。

2・3年次：卒業生の進路状況を説明し、将来の進路に対する認識を高めるとともに「自己探求」(2年生)「課題研究」(3年生)進路別説明会や生徒集会を通じて進路選択の指導・助言を行う。

#### (5) 人権尊重の教育の方針

国連の「世界人権宣言」「子どもの権利条約」、国の「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」及び「府人権教育基本方針」「人権教育推進プラン」「大阪府人権教育推進計画」に基づき、生徒の発達段階や意識の実態や生活背景を考慮し、豊かな人間形成の一環としての長期的見通しのもとに、全教職員が正しい人権意識をもって、あらゆる教育活動を通じて人権教育を積極的に推進する。「すべての生徒が安心して生活できる学校」また「すべての生徒の自己実現を支援する学校」づくりに努め、「差別をしない、差別をさせない人間」の育成をめざす。また、在日外国人問題や、障がい者理解、男女平等教育等についても、正しい認識を深め、人権尊重の意識高揚に一層努める。

#### (6) 健康管理と指導の方針

健康保持増進に対しては、自律的な健康管理の態度を育成し、健康診断及び健康相談により異常の発見に努めるとともにその事後処理を徹底する。

学校安全に万全を期し、校内及び校外における活動による傷病、災害等の事故防止に努め、生命尊重の精神を育成する。

保健体育の授業・学校行事等を通じて、健康の増進・体力の向上についての意識を高め、自主的に実践できるように指導する。

部活動においては、綿密な練習計画をたてさせ、合理的な練習により、技術の向上を図るとともに、事故防止に努め、社会性を高め、運動と学習の両立を目指し、望ましい人間形成ができるよう指導する。

学校環境の整備に努める。とくに清掃の励行により、校内美化を一層徹底させる。

#### (7) 学校組織の運営方針

生徒による授業アンケート実施や研究授業を開催し授業改善の取組を強化する。

総合学科のスタートからの将来構想委員会（ビジョン21）を、より機動的な委員会とする。

学校環境衛生の管理・清掃活動・安全点検をおこない、きれいな学校、安全な学校を維持する。

不審者・自然災害・伝染病など、危機への対応準備を行う

学校ホームページをより活用した学校教育活動の発信や学校説明会・学校訪問・教養講座などを充実させ地域への教育力の提供など、開かれた学校づくりの取組みを強化する。

保護者対象のアンケートや学校協議会において、学校評価の取組を進める。

#### (8) 教員の研修方針・研修計画

##### 研修方針

教員一人ひとりが学校運営の一員としての強い自覚を持ちながら相互の信頼と協力に基づいて生徒の個性を生かす教育を学習面生徒指導面にわたってどう展開すべきかを検討し、課題意識を持って目標を設定し、実践的に研究に取り組む。

カリキュラム委員会を定期的に関き、総合学科の趣旨を踏まえ、新しい選択科目の導入を図るなど、本校総合学科の特色づくりを積極的に推進する。

大学・研究所等より、あるいは学識経験者等を講師として招き、教科・人権教育・時事問題・諸科学・芸術・生徒指導・進路指導に関する諸問題及び一般教養についての研修を行い、教員としての資質の向上に一層努める。

府教育委員会府教育センターが実施する研修講座等には積極的に参加するまた参加者はその講座終了時または必要に応じて、受講の内容をできるだけ関係職員に伝達するよう努める。

## 年間計画

### 校内の研修

#### (ア) 学校運営等

- ・職員会議（原則として隔週木曜日）
- ・運営委員会（原則として隔週月曜日放課後）
- ・学年会（原則として週1回、ほかに担任会を必要に応じて随時）
- ・各部会（原則として隔週木曜日を定め、ほか必要に応じて随時）
- ・定例開催の各種委員会（原則として隔週月曜日放課後）
- ・その他の各種委員会（必要に応じて随時）
- ・ビジョン21
- ・志学プロジェクト

#### (イ) 教科指導等

- ・教科会議（必要に応じて随時）
- ・教科と担任との連絡会（各学期毎に1～2回）
- ・研究授業（随時）
- ・授業を考える会
- ・授業評価

#### (ウ) その他

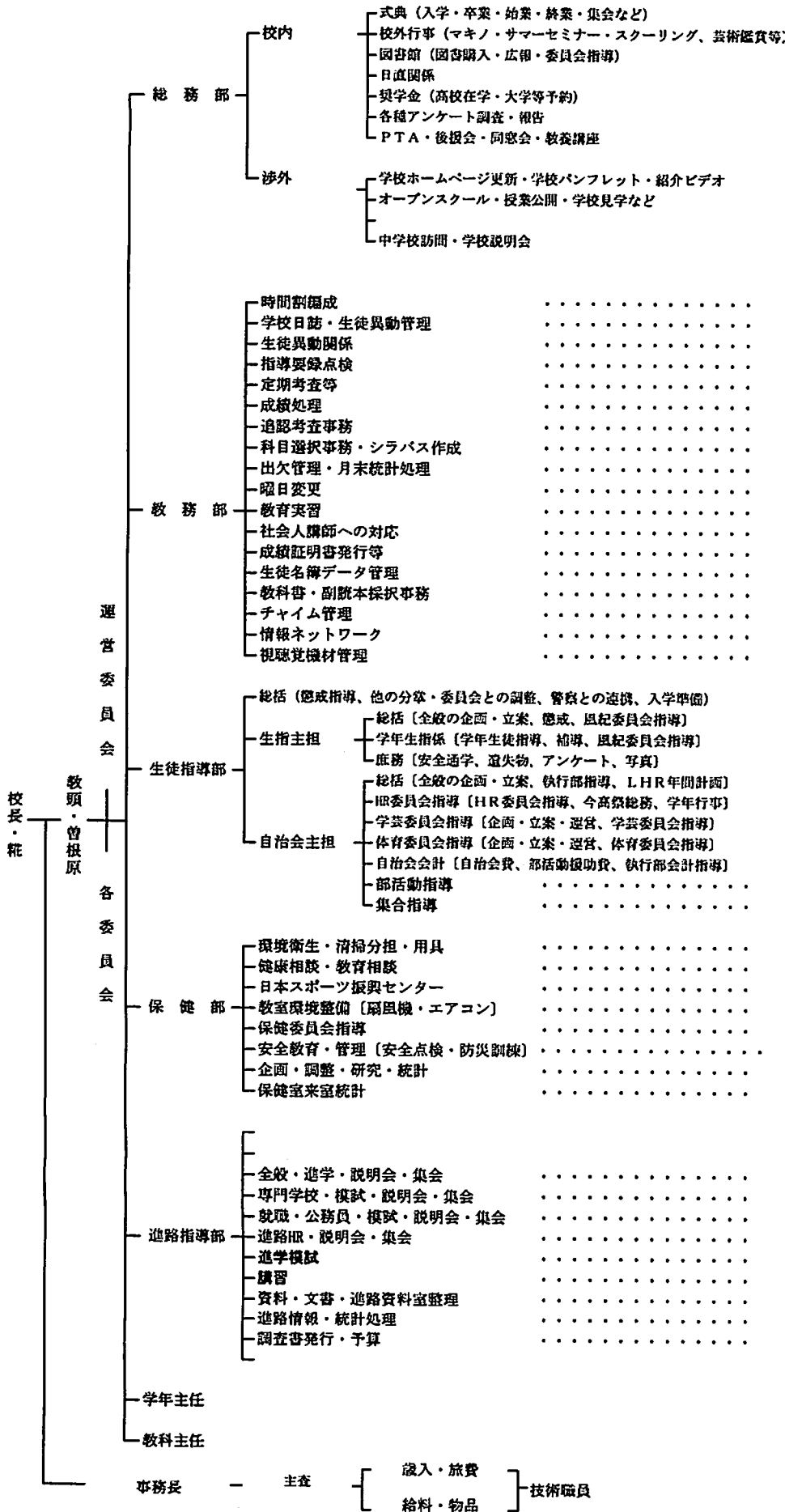
- ・人権教育推進委員会（原則として月1回）
- ・外部講師による講演会（原則として年2回）
- ・課題研究：教職員は各自研究課題を設定し、その成果を研究会等で発表する。

### 校外研修

- (ア) 大阪府教育委員会や大阪府教育センター主催の教職経験者研修Ⅰ・Ⅱ、初任者研修  
校務分掌研修、人権教育研修講座、各教科研修講座など
- (イ) 各教科研究会や全国教育研究大会等への積極的参加
- (ウ) 学校視察、文化教育施設等の見学等

# 第2 校務分掌

## 1. 校務分掌表



事務長 — 主査 [ 歳入・旅費  
給料・物品 ] 技術職員

各種委員会の構成

委員会の名称	定員	議長	構成と運営
職員会議	64	議長団	校長・教頭・事務長・首席・教諭・養護教諭・常勤講師・実習教員事務職員・技術職員
運営委員会	15	教頭	校長・教頭・事務長・首席・各分掌長・各学年主任・公選2名
職員会議議長団	9	互選	公選
成績判定会議	57	教頭	校長・教頭・首席・教諭・養護教諭・常勤講師・実習教員
国際交流委員会	13	総務部長	教頭・首席1・総務部長・各学年団から3名
情報管理委員会	9	教務部長	教頭・首席1・学情管理者・情報科・教務部から1名・進路指導部から1名
人権推進委員会	10	生徒指導部長	教頭・首席1・生徒指導部・各学年団から2名・その他(当該担任など)
総合的な学習 検討委員会	7	進路部長	首席1、進路指導主事、2学年担任団から1名、1学年担任団から1名
教育相談委員会	11以上	保健部長	教頭・首席1・保健主事・養護教諭・各学年主任・各学年担任団から1名・該当クラス担任・ 事案関係職員・その他
入学者選抜委員会	17	教頭	教頭・首席2・教務主任・総務部長・保健主事・新1学年主任 教務部から2名・各教科から1名(体・家は合わせる)
学校保健委員会	28	保健主事	校長・教頭・事務長・首席2・各分掌長・各学年主任・養護教諭 保健部員・学校医・学校歯科医・学校薬剤師・PTA役員(5名)
安全衛生委員会	7	教頭	安全衛生管理者(校長)・安全衛生管理者に準じる者(教頭・事務長) 衛生管理者・職員代表4名・健康指導(産業)医
補導委員会	11以上	教頭	教頭・首席1・生徒指導主事・各学年主任・生徒指導主担 生徒指導部各学年生徒指導係・該当クラス担任・事案関係職員
予算委員会	18	教頭	教頭・事務長・予算担当主査・首席1・各分掌長 各教科代表(国・社・数・理・体・芸・家・英・情)
教科代表者会議	12	教務主任	教頭・首席1・教務主任・各教科代表(国・社・数・理・体・芸・家・英・情)
留学審査委員会	9	教務主任	教頭・首席1・教務主任・生徒指導主事・各学年主任 該当クラス担任・国際交流委員会から1名
ビジョン21	6	首席	教頭、首席2、公募3名程度
志学プロジェクト	6	教頭	教頭、首席2、公募3名程度

2. 学年主任・ホームルーム担任一覧表

(平成23年5月1日現在)

学年	主任	組	担任	副担任	男子	女子	計
1年		1			14	26	40
		2			14	26	40
		3			14	26	40
		4			14	26	40
		5			15	25	40
		6			14	26	40
		計			85	155	240
2年		1			14	27	41
		2			13	26	39
		3			14	26	40
		4			13	27	40
		5			14	26	40
		6			13	27	40
		計			81	159	240
3年		1			13	26	39
		2			13	26	39
		3			13	27	40
		4			13	26	39
		5			13	27	40
		6			13	26	39
		計			78	158	236
総計					241	473	244

3. 部活動一覧表

	生徒数							
	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
陸上	6	1	1	8	5	1	12	10
剣道	2	3	0	2	0	1	2	6
男子硬式テニス	2	0	3	0	0	0	5	0
女子硬式テニス	0	4	0	4	0	0	0	8
ソフトテニス	3	10	2	2	0	4	5	16
バドミントン	0	1	2	1	4	4	6	6
サッカー	10	1	8	3	6	1	24	5
野球	8	2	14	0	10	2	32	4
男子バスケット	5	3	8	0	4	0	17	3
女子バスケット	0	5	0	3	0	0	0	8
女子バレーボール	0	3	0	1	0	3	0	7
水球	13	3	4	7	6	4	23	14
ダンス	3	27	1	25	1	21	5	73
山岳	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道	0	0	0	0	0	0	0	0
計	52	63	43	56	36	41	131	160
書画	0	5	0	3	0	11	0	19
美術	0	3	0	6	2	1	2	10
茶道	0	5	0	10	0	0	0	15
吹奏楽	0	10	1	3	0	9	1	22
軽音フォーク	3	10	3	11	5	4	11	25
軽音エレキ	7	24	5	17	0	5	12	46
放送	1	2	2	1	1	2	4	5
天文地球	2	1	2	0	3	1	7	2
イラスト文芸	1	7	0	4	0	8	1	19
写真	1	2	0	2	1	2	2	6
マンナンフェ	0	0	0	0	0	0	0	0
演劇	1	1	2	6	0	1	3	8
計	16	70	15	63	12	44	43	177
料理同好会	0	0	0	5	0	6	0	11
手芸同好会	0	0	0	2	0	5	0	7
計	0	0	0	7	0	11	0	18
合計	68	133	58	126	48	96	174	355